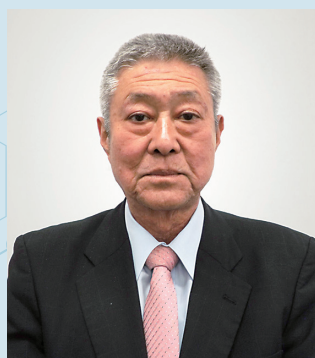


巻頭言

安心・安全な社会の構築へ
共に考え共に創ろう！埼玉経済同友会
代表幹事

平本 一郎

HIRAMOTO Ichiro

株式会社テレビ埼玉
相談役

ギー、食糧問題など課題は広範囲に及び、また相互関税はすでに多くの県内企業にも影響が出始めております。さらに地震や津波、異常気象など自然災害への対応も怠ることが出来ません。

このように多くの課題が山積する中において、これまで当たり前であった「安心・安全」が根底から崩れ去りかねない時代に突入したと言っても過言ではありません。こうした状況を踏まえ、埼玉経済同友会では今年度の活動テーマを「安心・安全な社会の構築へ 共に考え共に創ろう！」に設定しました。未来を担う子ども・若者が「安心・安全」に暮らすために何を為すべきかを考え、人口減少問題やBCP、みどりの保全、生成AI、若者のライフデザインなど、多岐に亘るテーマを採り上げて参ります。

本会は埼玉大学産学官連携協議会に平成12年の設立時から参画させていただいておりますが、今では国立大学の協議会において全国トップ3の規模を誇るまでに発展されております。SDGsやロボット、スタートアップ、防災DXなど各種研究会活動が大変充実しており、本会としてもこうした研究会活動に引き続き積極的に参加するとともに、そこで得た知見や成果をしっかりと反映させていきたいと思っております。そして「埼玉県経済の発展に貢献し、あわせて会員相互の啓発を図る」という所期の目的を達成するべく、各種活動を展開して参りますので、引き続き貴会のお力添えを賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

6月5日に開催された埼玉経済同友会通常総会にて埼玉りそな銀行代表取締役社長の福岡聡氏と共に代表幹事に就任しました平本一郎です。埼玉大学のOBとして埼玉大学産学官連携協議会の巻頭言でご挨拶させていただけること、大変嬉しく思います。

さて、世界を見渡しますと、トランプ政権による相互関税の発動をはじめ、軍事・外交・経済等様々な分野で国家間の競争や対立が先鋭化し国際秩序の根幹を揺るがしております。一方、国内に目を向けますと、人口減少・少子高齢化や人手不足、物価高、社会保障、エネ

CONTENTS >>>

- 01 巻頭言
- 02 活動報告 「第26回 定期総会・埼玉大学特別講演」
- 04 活動報告 「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」「防災DX研究会」「データサイエンス研究会」
- 05 活動報告 「3D-CAD&3Dプリンター研修」「大学見本市2025 ～イノベーション・ジャパン」
- 06 会員企業訪問記 「サンメーケミカル株式会社」
- 07 新会員紹介
- 08 埼玉大学オープンイノベーションセンター 産学官連携活動カレンダー

>> 活動報告

Report

01

「第26回定期総会・埼玉大学特別講演」を開催

埼玉大学産学官連携協議会では、2025年6月16日(月)ソニックシティビル4階市民ホールにおいて、第26回定期総会(第1部)、埼玉大学特別講演(第2部)および交流会(第3部)を開催しました。協議会会員を中心に、昨年を上回る141名の方にお越しいただきました。

第1部の定期総会では、増田文治会長の挨拶にはじまり、ご来賓の経済産業省 関東経済産業局 地域経



会長挨拶
(増田会長)



来賓祝辞(関東経済産業局
地域経済部/杉山部長)



来賓祝辞
(埼玉県産業労働部/村井課長)



来賓祝辞
(さいたま市経済局/木村主幹)

済部長 杉山晴治様、埼玉県 産業労働部長 野尻一敏様(産業創造課長 村井秀成様代読)、さいたま市 経済

局長 金子芳久様(産業展開推進課主幹 木村諭様代読)からご祝辞を賜りました。また、埼玉大学 坂井貴文学長より挨拶がありました。

総会の定足数を確認し、増田会長が議長として議事を進行しました。各議案については事務局より報告および提案を行い、全ての議案が原案通り承認されました。2025年度事業計画および予算案では、研究会活動の拡充や共催行事を通じたシーズ発信の強化など、本協議会の活動活性化に向けた各種提案を盛り込んでおります。議案承認後には、新たに運営委員に就任された5名の方から、ご挨拶をいただきました。

第2部の埼玉大学特別講演では、



第1部 定期総会

埼玉大学産学官連携協議会 第26回定期総会 各号議案議決結果

定足数

会員数(6月16日時点) 235会員
出席会員数 66会員
議長宛委任状受領数 85会員

会員数235に対し、出席会員数および議長宛の委任状受領数を合わせて151会員となり、当協議会規約第4章第17条(総会の定足数)に定める、総会の成立に必要な3分の1以上の出席を満たしました。

各号議案

第1号議案	2024年度事業報告
第2号議案	2024年度決算
第3号議案	2025年度事業計画
第4号議案	2025年度予算
第5号議案	役員の交代について

結果

出席会員の賛成件数と議長宛の委任状件数を合計した結果、すべての議案について過半数の賛成をもって可決されました。

3件の講演を実施しました。

まず、「シンガポールから見た日本の産学官の課題」と題し、埼玉大学大学院 人文社会科学部 長田健教授からご講演いただきました。シンガポールとの比較を通じて、日本がデジタル化や人材戦略など多方面で後れを取っている現状を鋭く指摘されました。そのうえで、ポジティブな情報を発信し、閉塞感を打破することの重要性を強調され、「我々はまだできる」との力強いエールを頂きました。

続いて、埼玉大学大学院 理工学研究科 豊田正嗣教授より「最新のイメージング技術で見てきた植物の驚くべき感覚」のタイトルでご講演いただきました。植物が触覚や嗅覚に似た感覚を持ち、全身や他の植物へ情報を伝える様子を、最新のイメージング技術により可視化する研究をご紹介いただきました。こうした植物間コミュニケーションの解明



第3部 交流会(懇親会)

は、次世代型農業開発などへの応用も期待されており、総額17億円規模の大型プロジェクトとして展開されている最先端の研究成果が披露されました。

最後に、埼玉大学 福島謙吉副学長より「創造の一步を共に～埼玉大学の地域連携と社会貢献の現在と未来～」と題して、埼玉大学の地域連携の概略についてご講演いただきました。埼玉大学が進める地域連携

の取組として、防災DXや脱炭素、起業教育に加え、ソーシャルインパクト創出に関する話題の紹介がありました。

第3部の交流会には引き続き112名の方にご参加いただき、講師や参加者の皆様の間で活発な交流が行われました。

増田会長による乾杯の後、埼玉大学オープンイノベーションセンターの産学官連携コーディネーター6名と知的財産コーディネーター2名の紹介と挨拶がありました。

今後も、会員企業・団体の皆様や大学教員との交流の機会を継続してご提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学長挨拶
(埼玉大学/坂井学長)



埼玉大学特別講演
(長田教授)



埼玉大学特別講演
(豊田教授)

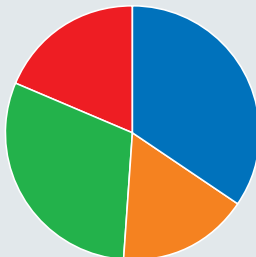


埼玉大学特別講演
(福島副学長)

参加者アンケートより

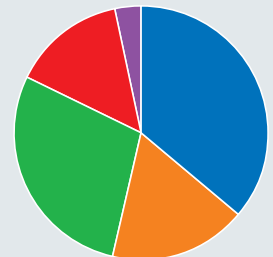
大学との連携に何を求めますか (複数回答可)

- 共同研究・技術開発・技術指導 39
- 技術者等の人材育成 19
- 講演会・セミナーなどでの情報提供 34
- 学生の就職支援 21
- その他 0



研究会活動について、今後どのような分野の研究会があれば参加したいと思いますか(複数回答可)

- ものづくり分野 33
- グリーン・環境分野 16
- IT・情報システム分野 26
- ライフサイエンス分野 13
- その他※ 3



※社会科学分野／自動化、省人化、人手不足解消、効率化に関する分野

>> 活動報告

Report

02

埼玉大学産学官連携協議会 研究会活動

埼玉グリーンインフラSDGs研究会

代表：藤野 毅(大学院理工学研究科・教授) 事務局：村井 亮介(産学官連携コーディネーター)

講 演活動が活発になりました。5月と6月に蕨市SDGs推進事業「モリンガを育ててみよう～ストップ温暖化のために～」として東・中央公



民館において市民向けの講演、7月に埼玉土建労働講座として大宮ソニックスシティ会議室において組合の役員向けの講演を行いました。また、会員のGPIC合同会社が浦和レッズとの共創ビジネス展開に向けて、秋ヶ瀬にあるレッズランド内圃場において約600株のモリンガを栽培し、モリンガの特徴を説明しました。民間企業からの問合せも続いております。

モリンガはさいたま市内でも大きく

成長しますが、ほとんどは枯れます。そのため吸収したCO₂を固定するには炭化が必要です。そこで、市販のもみ殻くん炭機を用いてもみ殻と一緒にモリンガの幹の残渣の炭化を試みました。低温処理で作ったモリンガ炭(バイオ炭)は農地改良に使用しますが、高温処理して活性炭のようにできればPFASの除去剤としても活用できます。

防災DX研究会

代表：齊藤 正人(大学院理工学研究科・教授) 事務局：金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

2 025年度の防災DX研究会では、年3回程度の定例情報交換会を予定しています。

第1回は2025年6月19日に開催し、JX通信社をお招きして、防災・危機管理分野における情報活用やデジタル技術の最新動向についてお話を伺いました。今後も、防災DXに関する先進的な取組の共有や意見交換を通じて、参加機関の連携と知見の深化

を図ってまいります。

また、GISの利活用などをテーマとした技術習得研究会(時期調整中)の開催も予定しています。さらに、本年7月に設立予定の「地域レジリエント社会研究コンソーシアム」との共催による公開セミナーも計画中です。防災DXに関心のある方の参加を随時募集しております。



データサイエンス研究会

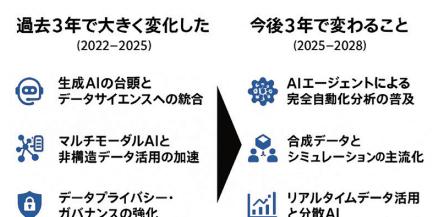
代表：平松 薫(大学院理工学研究科・教授) 事務局：金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

2 024年度までの3年間活動したデータサイエンス技術研究会ですが、名前を少し短くして、活動を継続することになりました。引き続き、よろしくお願いします。

この3年間で起こった大きな変化として、ChatGPTに代表される生成AIの普及と、その品質の飛躍的な向上が挙げられます。

このイラストもChatGPTで作成しましたが、これまで時間をかけて行って

きた作業の一部をAIが代替することが可能になってきました。特に、プログラミングにおいては、初学者の学習のハードルを下げることと、経験者の



開発速度向上に貢献しており、データ活用の現場においても大きな力になると期待されます。研究会では、こうした新しい技術に関する知見を共有し、データ分析の理解と活用を目的とした学びと交流の場を提供していきます。

2025年度は、3回の研究会を予定しており、皆様のご要望に合わせてテーマを選び、講演やワークショップを実施していきます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

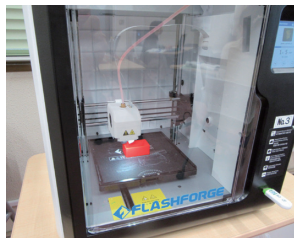
Report

03

「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」を実施

今年度は、昨年度までの教材や進行方法を見直し、受講者のご意見を参考に、「3D-CAD実践&造形」2日間コースの開催方法を「1日(4時間)×2日間」から「7時間×1日」に変更しました。これにより、連日での参加が難しい方にも受講しやすくなりました。早い段階で定員に達したことから、一定の評価をいただけたものと考えております。今後もアンケート等を通じて受講者の声を伺いながら、さらなる改善に努めてまいります。

新規コースとして「3D-CAD実践



ワークショップコース」を開設します。受講者が主体的にモデリングや造形に取り組む、実践重視の自由演習型コースです。自分のペースで課題やアイデアに挑戦し、必要に応じて講師のサポートを受けることができます。これまでに学んだ知識を確認しながら、3Dプリンターを使って「どのような設計が可能か」「どの程度の精度で造形できるのか」を実体験を通じて探っていただけます。

また、昨年好評をいただいた「3D-CAD基礎コース」の特別編として、「医療・介護のための3Dものづくり入門」

コースを10月17日(金)に開催いたします。埼玉県立大学 保健医療福祉学部 作業療法学科の小池准教授、埼玉大学大学院 理工学研究科の阿部准教授によるご講演を予定しております。

昨年度は、フリー素材のペットボトルオープナーのダウンロード手順を学び、そのサンプルにフィットする取手のモデリングを行う内容で、受講者から高い評価をいただきました。

現在、研修後期の参加者も募集しております。ご関心をお持ちいただきましたら、ぜひこの機会にご応募をご検討いただけますと幸いです。



Report

04

「大学見本市2025 ～イノベーション・ジャパン」へ出展

今年も国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が主催する「大学見本市2025 ～イノベーション・ジャパン」に出展しました(会期:8月21日(木)、22日(金)/会場:東京ビッグサイト 西展示棟 西4ホール)。本イベントは、大学等における研究シーズと産業界のニーズをマッチングさせるイベントとしては国内最大規模です。22回目の開催となる今回は、日本全国にある139の大学などから



291件の特許技術シーズ(出願中を含む)が6つの分野別に出展されました。

2日間の総来場者数は14,208名で昨年より3,000名以上の増加となり、多方面から高い注目を集めました。埼玉大学からは大学院理工学研究科の教員2名の研究成果が、AI・情報通信分野に1課題、健康・医療分野に1課題採択され出展しました(出展者参照)。

会場では、来場者と出展者間で活発なやり取りが見られ、セミナー等も盛況で、参加者の関心の高さがうかがえました。また、全国大学等シーズ情報ゾーンでは、刊行物「埼玉大学 研究シーズ集



2025-27」を配架し、大変多くの来場者にお届けすることができました。

今回出展した各技術シーズについては、産学交流会テクノカフェ(11月26日開催)においてポスター発表を行う予定です。是非ご参加いただき、最新の研究シーズに触れていただければ幸いです。

出展者分野別

塩田 達俊 准教授	AI・情報通信	高速で非接触の3次元形状計測システム
幡野 健 准教授	健康・医療	高感度イムノクロマトキットの製造技術

『夢の実現が未来を創る』

サンメーケミカル株式会社

COMPANY PROFILE



所在地: 埼玉県比企郡嵐山町花見台10-3 (嵐山花見台工業団地)

設立: 1970年7月22日

代表者: 代表取締役 三浦 徹

事業内容: 医薬品中間体、化粧品原料、試薬、その他各種無機化学薬品、有機化学薬品等、一般工業薬品の製造および販売

Interview

01 概要

サンメーケミカル株式会社は、有機・無機化学薬品の製造・販売を通じて、医薬品中間体や化粧品原料、試薬など幅広い製品を提供しています。高品質と安定供給を重視し、少量多品種のニーズにも柔軟に対応できる体制を整えています。また、研究開発にも積極的に取り組み、顧客の要望に応じたカスタム合成にも対応可能です。ISO9001およびISO14001の認証を取得し、3つの工場にて年間150種類以上の製品を製造しています。



とても営業スキルを習得する貴重な機会となっています。また、製造部門においては、単調なライン作業にとどまらず、幅広い工程や操作を担当することができる点も魅力的です。品質管理の分野では、取り扱う品目が多岐にわたるため、さまざまな分析技術を身につけることができ、専門性の高いスキルの習得が期待されます。社員の方々へのインタビューでは、入社間もない時期から多様な業務に携わることができるという声が多く聞かれました。こうした環境が、マルチスキルの育成に大きく寄与していると感じられました。

行う姿勢に深く感銘を受けました。また、実験室規模の反応をスケールアップする際には、気体の発生や反応熱の影響が顕著となるため、安全管理に一層の配慮が求められることを理解いたしました。さらに、日々の研究活動では意識していなかったのですが、廃液処理にかかるコストを抑えるための工夫がなされており、あらゆる面でコスト管理が徹底されている点にも大変驚きました。

おわりに

工場および研究所をご案内いただいたことで、現場における研究開発の進め方について、より具体的に理解することができました。また、社員の皆様との交流を通じて、化学業界への認識が一層高まり、非常に有意義な訪問となりました。この度はお忙しい中、貴重なお時間を賜り、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

Interview

02 TOPICS

マルチスキルの育成

私たちが印象を受けた点のひとつに、営業職を設けていないという特徴が挙げられます。技術開発を担う社員が顧客との窓口となることで、顧客のニーズをより的確に製品開発へ反映することが可能となり、社員自身に

Interview

03 学生目線

大学における研究と企業での研究との違いについて、貴重な学びを得ることができました。特に、顧客のニーズを意識した製造が重要であり、単に依頼された製品を作るだけでなく、必要に応じてプロセスの改良や技術的な提案を



01

株式会社東邦機器製作所

物流や工場の現場作業を支援する金属製品構造物などを製造しています。製品を安全に効果的、効率的に活用できるように、長年の経験と基本を生かして丁寧に仕事をしています。これからも顧客との事業活動で培った経験値と学びを通して事業を行っていきます。

- ① 製造業
(鉄鋼業、金属製品製造業、その他製造業)
- ② 埼玉県さいたま市南区太田窪
3501-5
- ③ 048-882-5446
- ④ 1967年(昭和42年)6月8日
- ⑤ 代表取締役 瀧澤 孝
- ⑥ できることを正しく丁寧に



株式会社東邦機器製作所

02

一般社団法人先端技術普及協会(略称:DLTA/デルタ)

現代の先端技術は技術開発、社会実装のスピードが速く、学ぶ機会が得られなかった人々が数多く存在します。我々は、この現状を看過せず、そのような人々に先端技術を学ぶ機会を提供し、その成果を社会で活かす機会を創出することを目指す非営利団体です。データサイエンスによる社員教育を導入した実績もありますので、イベント等、お気軽にお声がけください。

- ① 先端技術の普及活動全般
- ② 埼玉県さいたま市桜区西堀
9-14-1-604
- ③ <https://www.dlta.jp/>
- ④ 2024年(令和6年)6月19日
- ⑤ 会長 武正 公一
- ⑥ Learning Leading Technology
Together with Comrades



協会のロゴマーク(仲間と学ぶ楽しさを表現しました)

03

埼玉県農業技術研究センター

農業技術研究センターは、埼玉県の主穀作、園芸及び畜産分野の公設試験研究機関です。生産現場が大消費地に隣接しているという本県の「地の利」を生かし、農業者の収益性向上・産地の競争力強化のため、埼玉ブランドとなる品種の育成や環境変化に対応した省力・低コスト・高品質生産技術の開発・普及に取り組んでいます。

- ① 公務(埼玉県の主穀作、園芸及び畜産分野の試験研究)
- ② 埼玉県熊谷市須賀広784
- ③ 048-536-0311
- ④ 1900年(明治33年)4月6日
- ⑤ 所長 戸井田 幸夫



農業技術研究センター本所

04

アズワン株式会社

アズワンは、必要なモノを必要なときに提供することで、研究者や医療従事者の方々を支えています。また、モノの提供にとどまらず、研究や診察・看護に専念できる環境をサポートできるよう、人・モノ・サービス・情報をつなぐハブとして、サプライヤー様、販売店様、すべてのお客様のお役に立ちたいと思っています。

- ① 研究用機器機材、看護・介護用品、その他科学機器の販売
- ② 大阪市西区江戸堀二丁目1番27号
- ③ <https://axel.as-1.co.jp/>
- ④ 1962年(昭和37年)6月1日
- ⑤ 代表取締役社長 井内 卓嗣
- ⑥ 研究・産業・医療のフィールドで、人・モノ・情報・サービスを繋ぎ、成果を加速させる。



研究者を支えるアズワン

新規会員をご紹介します

ー埼玉大学産学官連携協議会入会メリットー

研究会活動に参加できます

「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」「人と協働するロボット技術研究会」「スタートアップ・新規事業創出研究会」「防災DX研究会」「データサイエンス研究会」が活動中です。新規研究会テーマも随時募集中です。

産学交流会(テクノカフェ)に参加できます

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチング等をおこなうオープンイノベーションの場を提供します。

埼玉大学生採用のチャンスがあります

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力を発信する機会である学内合同企業説明会に参加できます。(年1回)

埼玉大学科学分析支援センターが活用できます

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を、協議会会員料金(規定1/2)で随時ご利用いただけます。



最新情報をお届けします

・ニュースレター(年2回発行)
・インフォメーションメール配信
会員企業・団体に有益な情報や研究シーズ紹介、会員企業紹介、イベント情報等を提供します。



お問合せはこちらまで

埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学オープンイノベーションセンター内
電話: (048) 858-9064
E-mail: s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp
URL: https://www.saitama-u.ac.jp/research/coalition/kyougi/kyougi_about/

産学官連携活動カレンダー (予定表)

月 日	イベント	場 所
3(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 基礎コース	埼玉大学
10(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 基礎コース	埼玉大学
16(木)	令和7年度 SAITEC オープンラボ	埼玉県産業技術総合センター
17(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 医療・介護のための3Dものづくり入門コース	埼玉大学
10 24(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 初級コース	埼玉大学
21(火)	JST 新技術説明会	オンライン
30(木) ~ 31(金)	第15回 おおた研究・開発フェア 産学連携・新技術展	コンgresクエア羽田
31(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 応用コース	埼玉大学
	埼玉大学産学官連携協議会 第3回運営委員会(予定)	メール審議★
5(水)	第20回 東和新生会 ビジネス交流会	日本トーターグリーンドーム前橋
14(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 基礎コース	埼玉大学
11 18(火) ~ 19(水)	令和7年度 彩の国ビジネスアリーナ	さいたまスーパーアリーナ
22(土) ~ 24(月)	第76回 むつめ祭(埼玉大学 学園祭)	埼玉大学
26(水)	第26回 埼玉大学産学交流会 テクノカフェ	埼玉大学★
28(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 初級コース	埼玉大学
2(火)	第2回 SAITAMA スタートアップ・エコシステム シンポジウム	浦和コルソ
5(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 応用コース	埼玉大学
12 12(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 実践&造形コース	埼玉大学
19(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD 実践ワークショップコース	埼玉大学
	令和7年度 埼玉りそな産業経済振興財団 産学官連携セミナー	埼玉大学
16(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD による応力解析コース	埼玉大学
1 23(金)	3D-CAD & 3D プリンター研修 3D-CAD で2次元設計コース	埼玉大学
	埼玉県経営者協会主催 埼玉大学特別公開講座	ソニックシティビル
2	埼玉大学オープンカンパニー	オンライン★
	3D-CAD & 3D プリンター研修 活用事例報告会	埼玉大学
3	埼玉大学産学官連携協議会 第4回運営委員会(予定)	メール審議★

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

埼玉大学産学官交流会

第26回 テクノカフェ

埼玉大学産学交流会テクノカフェを開催いたします
多くの皆さまのご参加をお待ちしております

日 時	▶	2025 年 11 月 26 日 (水) 14 : 00 ~ 18 : 00 (予定)
会 場	▶	埼玉大学 総合研究棟 1 号館 1 階 シアター教室 ほか
第 1 部	▶	基調講演 「カーボンプライシング時代の発電技術について」 講師 一般財団法人電力中央研究所 シニアエキスパート 小山 正史氏
第 2 部	▶	大学研究シーズのご紹介 大学教員研究成果等の事例発表
お申込み	▶	事前登録制 右記の QR コードを読み取り、参加申込フォームからお申し込みください。 申込 URL : https://forms.office.com/r/6qFN7j5CtQ